

## 近世中期屋久島における世帯構成と生産基盤

溝 口 常 俊

### I はじめに

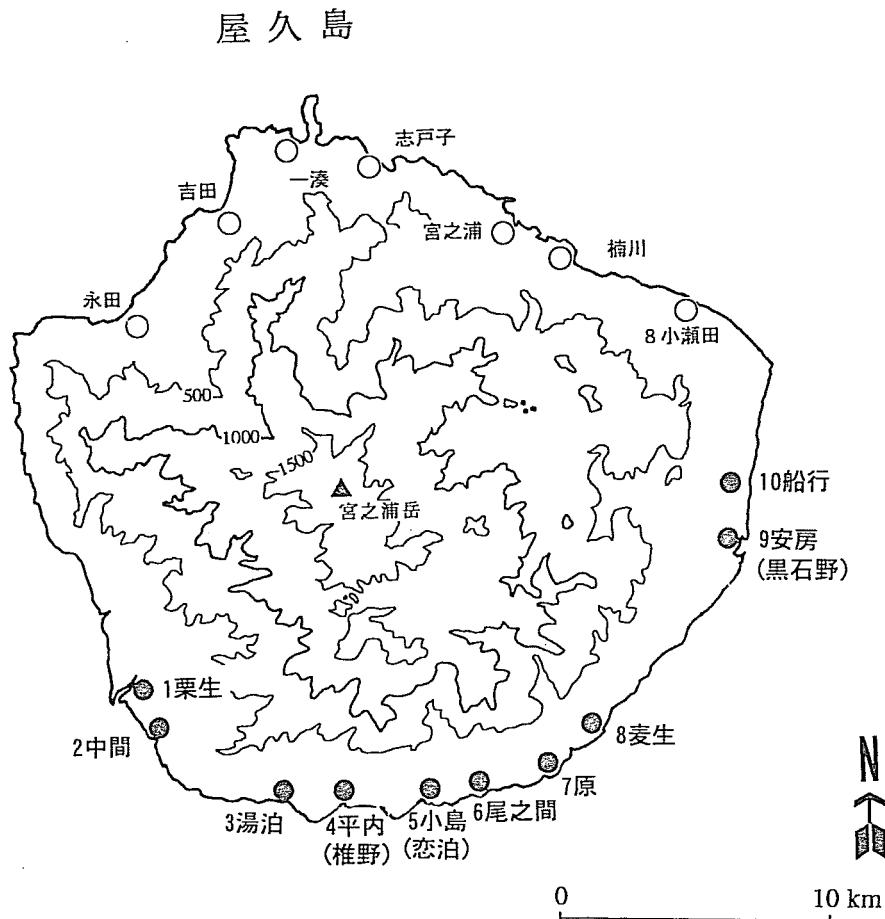
日本近世における世帯構成の復元は、近年、宗門人別改帳を詳細に分析することによってめざましい成果を挙げてきている。歴史人口学においては速水融<sup>1)</sup>、成松佐恵子<sup>2)</sup>、鬼頭宏<sup>3)</sup>、家族社会学では高木正朗<sup>4)</sup>、落合恵美子<sup>5)</sup>、文化人類学では木下太志<sup>6)</sup>、そして歴史地理学では川口洋<sup>7)</sup>、溝口常俊<sup>8)</sup>などである。それぞれ視点は異なるものの家族構成の復元を基本的作業として論を展開している。こうした研究をつなぎ合わせることによって、従来言われてきた東西日本の地域的な差異、すなわち全国的には長男相続と親夫婦と子供夫婦の同居という形をとる中で、姉相続もしくは配偶者を持った兄弟姉妹の同居と子供夫婦の同居という東北日本型と、末子相続もしくは、隠居制をとる西南日本型という差異<sup>9)</sup>が、基本的には認められつつある。その一方で時間的变化として、おおむね18世紀に入り複合的な大家族形態は姿を消し、核家族を中心とした小規模な世帯構成に変わりつつあったことが明らかにされてきた<sup>10)</sup>。現在、宗門人別帳は日本全国にまだまだ埋もれており、その収集が営為進められている。その過程で、ヒノエウマの影響、間引き、家族観、家系の継承などに関して興味深い分析結果が議論されており<sup>11)</sup>、近い将来さらに精緻な家族構成の復元とその応用研究が期待できる。

こうした近年の研究動向の中にあって、本研究は、近世中期という時代において当時日本最南端の孤島「屋久島」での家族構成が本州でのそれと如何なる差異を示していたのか、それを明示、検討するものある。具体的には、享保11年（1726）における屋久島（現、屋久町内10ヶ村）の検地名寄帳を分析することによって、当時の家族構成の復元と土地利用状況を明らかにすることにある。使用史料の正式タイトルは『隅州護謨郡屋久島御検地名寄帳』<sup>12)</sup>であり、その記載内容は検地名寄帳としては、屋敷持ちの家族構成が記載されている点で宗門改帳を加味した内容であり、極めて稀少価値のあるものになっている。馬、桑、柿、船、網の記載もあり、島津藩権力が浸透した年貢の基本台帳になっている。こうした注目すべき情報を合わせ持っている検地名寄帳の本来の記載事項である土地状況についてみれば、その記載は個人別にその耕作地がまとめてある名寄帳方式ではなく、一筆毎に、小字、地目、縦・横の長さ、面積、耕作者が示されている検地帳方式である。面積の左下に評価額として田に関しては畠、畑・屋敷に関しては大豆の換算値が載せられているのが特記される。

## II 屋久町10ヶ村の成立と概要

### 1. 対象村落の概要

享保11年（1726）の検地名寄帳には、栗生、中間、湯泊、平内、椎野、小島、恋泊、尾之間、原、麦生、安房、黒石野、および船行の13ヶ村が登場する（第1図）。しかし、それより70年先立つ明暦3年（1657）『屋久島大絵図』には、椎野、恋泊、黒石野の名前がみえず、1村としては位置づけられていない。その3村はそれぞれ平内、小島、安房内の枝郷的存在であり、各々その世帯数（1726）は1, 2, 2戸に過ぎない。従って本稿で世帯構成を村別に分類する際はそれぞれの本郷に吸収させる形で集計した。以下、各村の概観を最大規模の栗生村を詳細に、他村は戸数、人口数の推移を中心に簡略に紹介したい。



第1図 研究対象集落（享保11年）

## 2. 栗生村概観

栗生村は安房村とともに、屋久町の中ではもっとも早く天文13年（1544）の『種子島家譜』に「芋生村」として現れ、その名前は江戸時代初期の『屋久島大絵図』にも記されている。慶長14年（1609），薩摩藩は琉球攻略の後、屋久島・口永良部島を種子島家から割譲し、代官を置いて直轄地とした。以来栗生は、統治や公益の地として重要視され、藩の津口番所があり、唐通事も配置され、また藩の貢納物などを収納する屋久島南部最大の御蔵地もあった。後述するように、農業というよりも漁業が盛んであり、なかでもカツオ漁が栄えていた。文政5年（1822）に江戸で作られた諸国鱗節番付表では、「役島節」として土佐の清水節とともに全国百数十地区の产品の中で東西の大間にランクされ、明治時代の全国水産博覧会においても、栗生のカツオ節は上位に入賞していた。カツオ漁は大島との競争にかてず、大正中期に終わりをとげ、それにかわったトビウオ漁やサバ漁も昭和30年代で幕を閉じた<sup>13)</sup>。

明治12年（1879）戸長役場が栗生・尾之間・安房に設置され、また、同時に地租改正が開始され、官民境界調査も明治17年ごろにはすべて完了した。その結果は、『明治21年鹿児島県農事調査』によれば、屋久島・口永良部島の地目別面積は、田63町、畠1,779町、宅地51町、山林48,324町、原野4,921町、その他95町で、総面積55,234町のうち96.4%が山林・原野で占められており、かつその98.7%が官有地である。伝承、記録によれば「民有地になると、課税額は大きなものになるので、山林は民有地にしない方がよい。土地は國のものになっても、山林は、藩制時代と同様に利用すればよく、その方がよいではないかと説得され、全村こぞって、わずかばかりの田畠、宅地を残し、官有地にした」という<sup>14)</sup>。

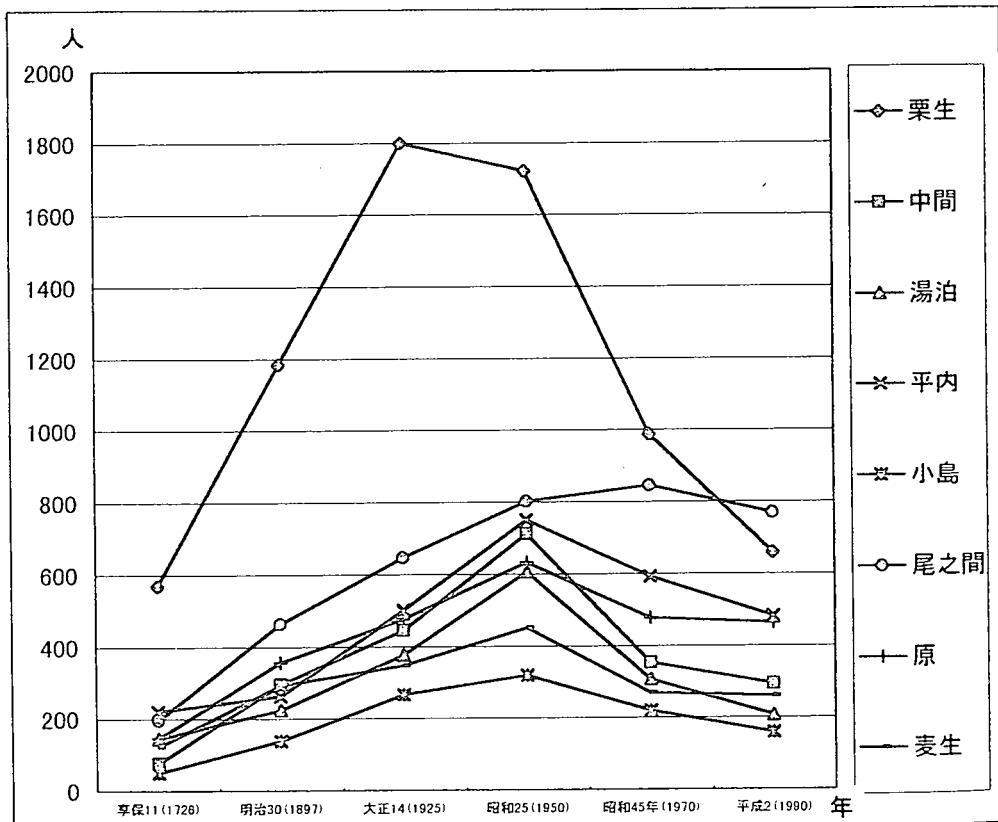
戸口の変遷を概観してみると、享保11年（1726）の検地名寄帳では、戸数54、男293人、女276人、馬29匹とあり、田4町2反7畝、畠3町8反3畝、それにカツオ船6艘という状況であった。以後、戸口は増加して、明治21年（1888）201戸、大正14年（1925）263戸、男983人、女913人となる。それが昭和25年（1950）には、戸数は340戸に増えたものの、人口は男867人、女855人に減り、以後、昭和35年（1960）320戸、男682人、女691人、昭和45年（1970）309戸、男449人、女540人と減り続け、一時的に昭和55（1980）年には311戸、男435人、女477人ともちなおしたもの、平成2年（1990）269戸、男301人、女358人にかけての落ち込みは急激である<sup>15)</sup>。その後5年間はほぼ横這いで平成7年（1995）270戸、男295人、女341人となっている<sup>16)</sup>。

## 3. その他諸村の概観

栗生村と同様、いずれの村落も享保11年（1726）から明治30年（1897）の171年の間に爆発的な人口・戸数増加を示し、その勢いは大正、昭和前期、第2次世界大戦直後まで続く（第2図）。その増加要因は鰯、飛魚漁という漁業の繁栄に加えて、めざましい勢いで開発されていった切替畑での甘藷栽培という有効利用であったことは、前稿で示したとおりである<sup>17)</sup>。それが、その後現在に至るまで、過疎化の波に洗われてみると人口が減少してきている。わずかに役場が設置

された尾之間だけその減少速度が弱いというに過ぎない。ところで1戸当たりの1村平均世帯員数を検討すると享保11年の11.4人（8ヶ村平均<sup>19)</sup>）が明治30年には6.0人と半減し、それが平成2年（1990）には、さらにその半数2.7人になっており、家族構成は激変の歴史をたどっている。そのおおよそは傍系家族を含んだ複合大家族→直系大家族→核家族と進み、現在では老人所帯のみの家族が増えてきている。

明治以降の詳細は他日を期すことにして、ここでは、その出発点に当たる複合大家族の詳細を、享保11年の検地名寄帳を検討して、描き出してみたい。



第2図 屋久島諸村の人口変化

注) 享保11年：検地名寄帳、明治30年：学校沿革史、大正14年：下屋久農村調査、昭和25, 45, 平成2年：国勢調査による

### III 世帯構成

#### 1. 世帯分類

検地名寄帳では屋敷を持った戸主（世帯主）を筆頭に、その戸主との続柄が記載された人々が一つのまとまりとして記載されている。そのグループをここでは1戸（世帯）とみなし、その世帯内に含まれる夫婦を単位として構成されるまとまりを「家族」として、「世帯」と「家族」という名称を使い分けて論を進めたい。その際、夫婦の片方が欠けている場合も、さらに続柄の記載で戸主との直接の関係が記載されていない人（例えば、「孫」と記載されなくて「子の子」とか、「甥」ではなくて「弟の子」とその直接の主（家主）とのグループも、1家族としてカウントした。こうした捉え方は、高木正朗による「戸主によって統括されていく永続的集団をここでは家（ie）とする。（中略）また相続から譲渡までの期間、特定の戸主が経営管理する集団を世帯（household）と考える。（中略）また世帯の中核を形づくる集団が家族（family）であると考える」という考え方を準ずるものである<sup>19)</sup>。本稿のタイトルを、広義に解釈して「家族構成」としてもよかったです。この違いを明確にしておくために「世帯構成」とした。

こうした便宜的な定義のもと、まず、『検地名寄帳』のデータベースを、世帯構成員別に戸主との続柄、年齢、土地保有状況（屋敷、田、畠、山畠）、ならびに桑、柿、船、鰯網の所有状況を表にする形で作成した。その全データは、本文末尾に付表1-8として一括掲載した。もっとも、「屋敷」については上屋敷、中屋敷、下屋敷、「田」については上田、中田、下田、下々田、「畠」については上畠、中畠、下畠、下々畠の区別が史料上ではしてあるが、本紙上ではそれらの等級別の議論は本題ではないので、紙面の節約も兼ねて割愛してある。

#### 2. 世帯構成 一複合家族一

このデータベースをもとに、世帯分類をおこなったのが第1表である。

まず、ある世帯に戸主との関係で傍系が含まれているか否かによって大別した。10ヶ村合計での世帯数を比較すると、直系のみの世帯数が48、傍系を含む世帯が141と後者が圧倒していることが特記される。直系の中でも1世帯の中で2組以上の夫婦、すなわち2家族以上が含まれている世帯は12（25%）を占め、それが傍系を含む世帯の中では実に104世帯（74%）にものぼっている。さらに、そのうち世帯主家族および直系家族を除いて、なおかつ傍系家族を2家族以上含む世帯が71も数えられた。従って享保11年の屋久島諸村の典型的な世帯構成は、複数の傍系家族を含む複合家族形態であったといえよう。これは10ヶ村いずれにおいても共通してみられる形態であった。例として、10ヶ村中最大家族員32人を誇る原村の周兵衛世帯（付表7、#5）をあげると、世帯主周兵衛（44才）の家族は妻と3人の子供であったが、そこに周吉という弟家族（妻と子供2人）、単身の弟3人、親（65才）とその妻（47才：年齢からいって世帯主周兵衛の母親とは考えられない。父の後妻であろう）のみならず、続柄が不明である周左衛門（妻、子、父親

第1表 屋久島諸村の世帯構成

世帯分類	栗生	中間	湯泊	平内・ (椎野)	小島・ (志田)	尾之間	原、 (黒石野)	麦生	安房・ (黒石野)	船行	10ヶ村 合計
世系	家番号	家番号	家番号	家番号	家番号	家番号	家番号	家番号	家番号	家番号	世帯数
戸主				9							2
戸主・子	1, 3, 52		12								4
戸主・子/親・孫	6, 41		3		1						5
戸主夫婦											0
戸主夫婦・子	2, 29, 31, 48, 49	12		2		4		2, 11, 18, 42	5, 6, 10, 12		6
戸主夫婦・子・孫	3, 4, 53	13			8		10	6, 7	8		9
戸主夫婦・子夫婦・親・ 孫	7, 33	1	1, 3, 10		2, 4, 7	9		1, 9			12
戸主											0
	A単身										2
	B夫婦/・他				1,	14					4
戸主・子	A単身	12, 15, 18, 38									6
	B夫婦/・他	8, 46		4, 7, 18	4						13
戸主・子・親・孫	A単身	14, 19, 20, 51, 53	8	11, 14, 17 (1)			2	10, 34			1
	B夫婦/・他	5, 26, 36, 43	2, 7	16	15	2	6	(1)			11
戸主・子夫婦・子	A単身	41									1
	B夫婦/・他	30, 35	6								3
戸主夫婦	A単身				(1)		1, 3				3
	B夫婦/・他	13	3					(2)			3
戸主夫婦・子	A単身	11, 32, 37, 39, 40		3				7, 35			8
	B夫婦/・他	9, 10, 16, 21, 24, 28, 34, 47, 50	4	14	6, 13, 15	1	3, 5, 6, 12, 13	8	5, 12, 15, 17, 19, 22, 23, 26, 30, 37, 41, 43	3, 7, 9	37
戸主夫婦・子・親・孫	A単身				(2)		9, 11	20, 29, 33			6
	B夫婦/・他	17, 22, 23, 25, 44, 45	7, 6	4, 7, 9	5, 8, 10		1	5, 6, 7, 8	5	4, 16, 21, 24, 25, 27, 28, 39	32
戸主夫婦・子夫婦・親・ 孫	A単身			2							1
	B夫婦/・他			5, 11			10	7	3, 14, 31, 32, 36, 38, 40		1

注1) 各村の家番号は付表1-10のそれと照合、注2) · : and、/ : or

注3) 他: 子、孫、親、兄弟など、注4) 『隅州護謨郡屋久島御検地名寄帳』による

の7人家族), 郷右衛門(妻, 子の6人家族), 及び次五右衛門(妻, 子, 母の5人家族)である。彼らの不動産はわずかに世帯主の周兵衛が屋敷1反2畝14歩, 馬2匹, 糀1本, 柿2本を所有するにとどまり, 傍系では郷右衛門名義の山畠が6畝22歩認められただけであった。

こうした複合家族形態が多数存在していること自体, かなり特異かと思われるが, それが近世中期, 享保年間まで残っていることは, 本州の他村と比べて若干遅いように思われる。筆者が検討した甲州西野村では, 先進地域として位置づけられていないにも関わらず, 早くも17世紀末の元禄年間には, かかる複合家族は分解し核家族化した世帯構造に移り変わっていた<sup>20</sup>。この特色ある屋久島諸村の複合家族形態を個別に検討してみると, さらに特異な家族構成の実態が浮かんでくる。

### 3. 家族構成(1) 一消えた妻たちー

非常に高い傍系家族率とならんと注目しておきたいのが妻欠員家族率(家主で妻のいない家族の割合)である。この率を, 研究対象とした屋久島南部の10ヶ村で見ると(第2表), 高い順に栗生(50.4%), 中間(35.0%), 麦生(31.0%)……と続き, 最低でも安房村の7.0%を示し, 10ヶ村総計でのそれは23.6%となっている。

この異常な高さの実状を, 最高率を示した栗生村を例として, 検討してみる。まず世帯主の家族に注目してみよう。これが, 世帯主という柱となる家族でありながら54戸中23戸(43%)と極めて高い。したがって, 世帯主(父)と子, あるいは世帯主(父)と子+ $\alpha$ という, 子供から見れば母親不在の家族構成の家が相当数あったことは驚異である。さらに驚かされるのは, 世帯主の直系の子供の家族11家族(長男8家, 次男3家)中, 妻を有していたのはわずか長男家族の内3家にすぎず, 残りは皆父子家庭であった。次男家族3家にはいずれも妻の姿はみられなかった。

第2表 屋久島諸村の家族構成

	栗生 家番号	中間 家番号	湯泊 家番号	平内・ (椎野) 家番号	小島・ (恋泊) 家番号	尾之間 家番号	原 家番号	麦生 家番号	安房・ (島石野) 家番号	船行 家番号	10ヶ村 合計 家番号
世帯分類											世帯数
世帯数	54	7	14	19	6	15	9	11	45	121	192
家族数	125	20	34	46	10	48	35	29	128	261	501
妻欠員家族(夫+子)	63	7	6	5	2	8	4	9	9	5	118
夫欠員家族(妻+子)	5	4	1	0	0	6	2	2	1	0	21
妻欠員家族率(%)	50.4	35.0	17.6	10.9	20.0	16.7	11.4	31.0	7.0	19.2	23.6
総人口	552	76	144	220	50	196	145	119	474	101	2077
男性	287	40	79	107	32	104	83	59	243	56	1090
女性	265	36	65	113	18	92	62	60	231	45	987
性比	108	111	122	95	178	113	134	98	105	124	110
20-50才の単身男性数	35	5	13	15	6	20	15	9	34	5	157
20-50才の単身女性数(a)	63	6	5	21	2	12	3	10	9	2	133
20-50才の総女性数(b)	102	13	23	45	8	36	22	24	95	16	384
単身女性数比a/b*100(%)	62.7	46.1	21.7	48.9	25.0	33.3	13.6	41.7	9.5	12.5	34.6

『隅州護謨郡屋久島御検地名寄帳』による

次に傍系家族を検討してみると、妻か夫不在の家族構成をとる例が、総傍系家族59家中38例：母親不在33例（56%）、父親不在5例と、その割合がさらに高くなっている。傍系を含む、含まないにせよ世帯主の妻が不在という形態は、非常に不安定な世帯構成が支配していた村落であったといえよう。典型的な核家族である夫婦と子供からなるのはわずか4戸のみであったし、家主夫婦+子夫婦+孫、あるいは家主夫婦+子+親という直系3世代はそれぞれわずか1例にすぎなかつた。

#### 4. 家族構成(2) 一異常な単身女性数一

妻が消えたとすると、彼女たちはどこへ行ったのであろうか。家から消えたのか、村から消えたのか、あるいは屋久島から消えたのか。まず屋久島全体（10ヶ村合計）での女性数を調べてみると男性1,090人に対して女性987人と、女性が93人も少なく、性比（女性100人に対する男性数）でみても110という値を示しており、これは男性数が多い一般的な近世村と比較してもかなり女性が少ない島ということができる。若干の受胎調整があったかもしれないが、それ以上に女性の島外流出がなされていたであろうことを考慮に入れておかねばならないであろう。しかし、この点については全く資料が残されていなく推測の域をでない。

村単位で検討すると、平内、麦生2村を除いてすべて男性が勝っているものの、その他の村から平内、麦生村に女性が移動した形跡はない。両者に女性が多いとはいえ、その性比がそれぞれ95、98と際だった値を示していないからである。

かくして、消えた妻たちの行方は、自村内と考えるのがよかろう。その証拠は母親可能女性（ここでは20才～50才とする）中、単身女性の数が極めて多いからである（第2表）。再び栗生村について見てみると、その数は同年代の女性総数102人の62.7%を占める64名にものぼっていた。これらすべてが未婚とはとうてい考えられず、その多くは子供が出来たにもかかわらず夫の籍に入れてもらえなかった哀れな妻たちと考えざるをえない。従来、逆に夫が妻の家に通い母親が子供を育てるという家族形態は、かつての飛騨白川郷をはじめとしてないことはない。しかし、ここ屋久島の栗生村のような父子家庭の多い家族形態をとる村は、管見の限りその報告を見聞していない。

#### 5. 家族構成(3) 一一つの社会的規範一

妻が死亡などで生じた父子家庭は、20～30家族に1ケースくらいあっても不思議でない。しかし、2～3家族に1ケースみられるとなると、これは単なる個人的、個別的な理由では説明できなく、その村あるいは地域になんらかの慣習、いわば一種の社会的規範があったと考えるべきであろう。この点について検地名寄帳は何も語ってくれない。

この点を少しでも明らかにするために、他地域での事例、民俗学調査報告、および現地での古老からの聞き取り調査によって推考することにした。

落合恵美子は、奉公人の多い東北地方下守屋村でのラーフコース研究の一節で次のようにいっている。「しかし子供を産んで三年ほどで母親が奉公に出てしまうと、子供はどうなるのだろうか。父親も多くの場合すでに奉公に出ている。事例を調べると、子供を産んだ女性が奉公に出る直前に、さらにその親の世代が奉公から帰ってくるといった工夫をしている家がある。すなわち同居している祖父母世代やオジ・オバが子供の世話をしたのであろう。実の親がそばにいなければ子供は健全に育たないという現代人には大流行の信念に、徳川時代人は拘泥していなかったようだ」<sup>201</sup> 屋久島では奉公が頻繁に行われていた事実はないが、オジ・オバのたぐいが多數存在し、実の親（母親）がそばにいなくても子供は育っているところは、東北の一農村と屋久島では似たところがあり興味深い。

母親がそば（同じ家）にいないことは事実だが、どうも近く（同一村内）にいたらしいことは、先に20-50才の単身女性の多さから推測した通りである。彼女らは結婚しても婿の家になかなか入れてもらえなかつたのでは、すなわち籍を入れてもらえなかつたのではなかろうか。中間村の3人の伝承者：岩川テル（明治37年生）、岩川クニ（明治41年生）、山崎サト（大正2年生）によると、中間村での結婚式の状況は次のようにあった「昔は、婿の家で行われていた。嫁方の両親は出席せず、嫁も裏からあがって、式を行う部屋にも入らずに、その部屋の入り口の板敷きところに一人で座っていた。杯をもらうときには、婿と、婿の両親と、ナカウドが嫁のところまで来て、嫁は杯をもらうとすぐに家に帰った。嫁はそのまま何日か自分の家で寝泊まりして、昼間は婿の家に手伝いに行く。そうしているうちに婿と親しくなり、一緒に住むようになる」<sup>202</sup> このことから、嫁は結婚してもすぐには婿の家に入れなかつたようだ。しかし、親しくなれば入れるので、結婚してすぐとはいわないまでも、子供が生まれれば籍は当然夫の方に移されたはずである。この別居期間が長かったからといって父子家庭が多かったことの説明にはならないであろう。

そこで、この婚姻形態をさらに知るために中間村在の郷土史家日高時徳氏（昭和7年生）に聞き取り調査を98年10月に行い<sup>203</sup>、以下の慣習を知ることができた。「親が決めた相手以外の人との結婚はほとんど認められなかつた。しかし、自由恋愛というか親の意にそわない相手と結ばれる場合がかなり多く、かつ子供が生まれてしまう場合も結構あった。そんな場合はしばしば男性側が子供を引き取っていた。養子、養女が多いのは親の許可が得られないためだ」こうした状況は現在はないものの、第二次大戦以前はかなり認められていたのであり、それがさらに昔の江戸時代中期にも当てはまるのではないかと、考えておきたい。

#### IV 生産基盤

前章まででみてきた複合家族からなる世帯構成を特色とする屋久島の諸村において、本章では個々の家族構成員が如何なる生産基盤を持っていたかを、農業的生産基盤と、非農業的生産基盤にわけて栗生村を中心に検討してみたい。分析資料は、世帯構成の復原に使用したのと同じ『検

地名寄帳』である。

## 1. 農業的生産基盤

### 1) 小字別土地利用

享保11年（1726）の『栗生村検地名寄帳』を集計した結果、屋敷地を除く総耕地面積は155筆で8町1反1畝16歩という極わずかな土地しか存在していなかった。地目別内訳は中田がもっとも多く24筆で1町7反3畝20歩（対総耕地面積21.4%）、以下、山畠（=切替畠）36筆、1町4反5畝17歩（17.8%）、下々畠24筆、1町8畝15歩（13.4%）、下々田（11.5%）、上田（8.3%）、中畠（6.3%）、下畠（5.9%）、上畠（3.8%）と続き、他に荒田（4.9%）、荒畠（0.5%）である。48ある小字の現地比定は屋敷地周辺のわずか5ヶ所しかできなかった。このうち栗生川に面する「江川」のみ上、中、下々田、中、下、下々畠の田畠に利用されていたが、他の4ヶ所はいずれも斜面上故か山畠一色であった。極く集落に近いところでも切替畠を利用せざるを得なかった時代であったといえよう。

しかしながら、栗生村の田畠利用状況は、本土の平均的村落と比べれば圧倒的に貧弱な状況にあったとはいえる、以下に示す隣村で、山畠が圧倒していた隣村の中間村と比べれば、かなりの程度常田・畠としての開発が進んでいたといえる。享保11年、7戸76人の小集落中間村では、屋敷地を除く総耕地面積は77筆で1町3反7畝22歩と極わずかであった。その地目別内訳も山畠がもっとも多く54筆で5反8畝26歩（対総耕地面積42.8%）、以下、下畠11筆、3反27歩（22.4%）、中田（16.2%）、下々畠（5.0%）、下田（3.5%）、下々田（1.2%）と続き、他に荒畠（8.1%）、荒田（2.3%）であった<sup>21</sup>。

### 2) 地目別評価

地目は屋敷と田が上、中、下、下々の4等級、畠がその4等級に山畠が加わり5等級に区分されており、田のみが粉換算、屋敷と畠が大豆換算してある。それを反当たり石高の平均値で比較してみると、当然3種の地目いずれも、第3表に示したように、上から下々、山へと向かうにつれて評価が低くなっている。その評価を反当たり粉高を田についてみると上田が2.75石で、以下、中田2.71、下田1.82、下々田1.05のごとくである。

この地目評価に関して、本州の農村では各検地帳の末尾に、石盛りと称して、たとえば上田1石8斗、上畠1石6斗（畠は田に対して通常

第3表 栗尾村における地目別平均面積と反当たり収量（1726）

筆数	地目	面積 (畝)	大豆 (升)	粉 (升)	大豆/反 (石)	粉/反 (石)
1	上屋敷	6.69	52.7		0.79	
29	中屋敷	2.95	22.8		0.77	
21	下屋敷	2.59	12.4		0.48	
1	下々屋敷	2.00	11.0		0.55	
11	上田	6.13		168.3		2.75
24	中田	7.24		195.8		2.71
11	下田	8.50		154.6		1.82
8	下々田	3.22		33.8		1.05
3	上畠	8.42	90.5		1.08	
24	中畠	4.03	30.1		0.75	
13	下畠	3.66	19.1		0.52	
24	下々畠	4.52	12.1		0.27	
36	山畠	4.04	6.4		0.16	
11	荒田	3.60				
1	荒畠	3.63				

『隅州護謨郡屋久島御検地名寄帳』による

2斗落ち) 等と記載されており、該当村落の土地についてはすべてこの基準で換算、評価されている。しかし、屋久島においては不思議なことに1筆ごとに違うのである。たとえば、24筆ある中田では、平均は2.71(糲・石)であるが、小字「一ツ坪」太郎左衛門保有の2.95から、小字「四ツせ町」笹右衛門保有の2.24まで差がある。一番評価が低い山畠でも一筆ごとに厳格に収穫量が調査されており、その結果、平均が0.16(大豆・石)で、小字「馬場園」の最高値0.25から、小字「宮原」の最小値0.02まで異なってあらわれている。この方法が検地施行上の原初形態であったか、屋久島特有の形態であったのか、あるいはこの方法が施行側(島津藩)の方針なのかどうかは検討の余地があるが、特記される方法であることには違いなかろう。

### 3) 名請人

栗生村の享保11年(1726)の名請人は89名。内、屋敷登録者は御蔵地1を含めて54人であった。半農半漁の村故、農民階層を議論すること自体それほど意味をなさないかもしれないが、一応屋敷持ちの54人は草分け百姓的存在であったことは確かであろう。

その中で屋敷を含む耕地面積の最高保持者は源次郎家で5反6畝29歩である。トップが5反強というのは本州の貧村においてもまず見られない少なさである。しかも、家族員数が22人と多く、1人当たりの保有面積が2.6畝という低さである。反当たり石高が1石とすると、1人当たり1反必要だから、その4分の1しか保有していないわけである。2位の仲右衛門家以下の状況も全く同様、それ以下の保有状況であった。1人当たりの保有面積で源次郎家を凌ぐのは、最高でも長吉家の5.3畝で、以下、清左衛門家(4.9畝)、幸兵衛家(4.4畝)、三十郎家(4.1畝)、曾左衛門家(3.8畝)、善六家(3.2畝)、千兵衛家、彦右衛門家、休兵衛家(3.1畝)の9家にすぎない。

栗生村から村外(隣村の中間)への出作は2人あり、1人は#33の家主蔵右衛門で7畝24歩、他の1人は#16の家主覚右衛門の甥で1反1畝5歩であった。この土地を加えると彼らの保有地別順位は前者が21位から10位に、後者は20位から6位にアップするものの、家族員1人当たりの保有面積はそれぞれ1.5畝、2.7畝と少ない。

## 2. 非農業の生産基盤

### 1) 状況

上・中・下屋敷、上・中・下・下々田および上・中・下・下々・山畠という田畠、家屋の生産基盤について一筆残らず詳細に書き上げられていることから、近世中期の屋久島各村の生活は主として農業に依存していたに思われる。しかし、その保有面積はとてもそれだけで大家族を養っていくだけの規模ではなかった。その少ない土地の中でも水田はほとんど無く畠地、中でも粗放的な山畠(切替畠)に依存していたのである。したがって、家計は農業のみでは成り立たず、農外に生業を求めるを得なかつたのである。

### 2) 桑と柿

検地名寄帳には、ほとんどの世帯にその資産として桑が記載されている。その本数はいずれも

1本にすぎないが、その意味するところは大きい。養蚕業が盛んであったとの記録はないし、聞き取りで時代がさかのぼれる明治初期でも行われていた形跡はない。しかし、栗生村53世帯中、桑保有世帯は33戸にのぼり、合わせれば相当量の桑葉生産が見込まれ、自家消費量くらいの絹が産出されていたことは想像に難くない。特に木綿以前の時代には重宝されていたものと思われる。さらには、馬あるいは船という輸送手段の存在は商品作物として移出されていたと考えられないわけでもない。

柿については、わずか千兵衛家（#29）1世帯に1本記載されているにすぎない。しかし、これも、どこの家にも必ず植わっているのが当たり前の、したがって租税の対象とは考えにくいありふれた樹木であるのに、検地名寄帳に登場してくることに意味がある。おそらく、漁業が盛んなこの村において漁網の手入れには相当神経が入れられていたことであり、それに柿渋が使われていたと推察できる。その供給元が千兵衛家であり、7戸の鰯網所有者（休兵衛#13、覚右衛門#16、五次右衛門#17、次郎七#21、平右衛門#25、半左衛門#37、清兵衛#43）に渡ったのであろう。

### 3) 漁業・海上交易

上記の7戸網所有者は網元として漁業に従事していたことはわかるが、その中で帆船を所有していたのは休兵衛、覚右衛門、五右衛門、平右衛門、及び清兵衛の5人であり、次郎七、半左衛門の5人は網のみの所有者であった。逆に網は持たずに帆船だけの所有者が3人（藤左衛門#23、正右衛門#30、および茂右衛門#34）いた。帆船の規模はいずれも10石積みの二枚帆船で、彼らを中心に積極的に漁業活動および近距離交易が行われていたであろう。その中で平右衛門家（保有地は2反3畝1歩で、村内10位）は上記帆船に加えて510石積みの拾七端帆船を所有しており、栗生村のみならず屋久島13ヶ村の漁業および海上交易のリーダーであったことがうかがわれる。

陸上交易についても決して閉鎖的では無く、海岸線に連続的に立地する村落間の交流は馬によって想像以上に進んでいたものと思われる。それは全53戸中約半数の28戸が馬所有世帯として記載されていたことから馬の重要性が伺えるが、農耕地としては急峻な微々たる畠地しか無いような土地にあって農耕馬としては考えられずもっぱら運搬用に使われていたのである。

## V 世帯構成と生産基盤の関連 一結びにかえて一

村落内で、農業、非農業部門を合わせた総合力から見たランキングは次のように把握することができよう。村落のトップの世帯は屋敷、土地、馬、桑、船、網を所有、次に実力があると思われる世帯は屋敷、土地、馬、桑の持ち主で、以下世帯主に成りえていない従属的な家主には2とおりあり、そのうち上位は土地のみ、そして下位は生産基盤なしという状況である。切替畠に頼らざるをえない貧弱な土地利用での農業的基盤だけでは生活は困難であり、船と網を持った少数の世帯をピラミド型にし、それに依存した世帯構成の配置によって村落が成り立っていたと考えてよかろう。

次に、屋久島10ヶ村を横断的に概観してみると、全村共通して、土地利用に関しては切替畑が主体、水田、常畠は極わずか、という共通性がみられたが、漁業基盤については、村落に差がみうけられた。すなわち大漁港を抱え、帆船数、鰯網所有者の多い栗生村、その基盤を持たない小島（恋泊）村、船行村、その中間的なその他の村々とに分かれる。漁業がもっとも盛んな栗生村で妻欠員家族数が突出していたことを勘案すると、生業上の労働力のあり方と家族構成が何らかの関係があるかもしれないが、これは今後の課題の一つとなろう。

謝辞：貴重な資料の閲覧を許可してくださいました屋久町教育委員会、聞き取りに応じて下さった日高時徳氏とビデオインタビューをして下さった米本裕見子氏に感謝いたします。なお、本研究は平成10年度文部省科学研究費補助金（創成的基礎研究）「ユーラシア人口・家族構造比較史研究」（代表者：速水融）から援助を受け、第50回日本人口学会（1998.6、於中央大学）で発表したものである。ここに記して深い感謝の意を表したい。

### 注

- 1) 速水 融「近世農村の歴史人口学的研究」東洋経済新報社、1973,『江戸の農民生活史 宗門改帳にみる濃尾の一農村』日本放送協会、1988,『歴史人口学の世界』岩波書店、1997
- 2) 成松佐恵子『近世東北農村の人々 奥州安積郡下守屋村』ミネルヴァ書房、1985
- 3) 鬼頭 宏「近世農村における家族形態の周期的变化」上智経済論集27-2・3, pp. 7-22
- 4) 高木正朗「家族分類スキームと宗門改帳」国際日本文化研究センター紀要『日本研究』12, 1995, pp. 181-208
- 5) 落合蕙美子「失われた家族を求めて—徳川時代の歴史人口学—」『現代日本文化論2 家族と性』岩波書店、1997, pp.36-57
- 6) 木下太志「記録されなかった出生—人口人類学におけるシミュレーション研究—」国立民族学博物館研究報告21-4, 1996, pp.879-919
- 7) 川口 洋「近畿地方における遠方婚について—17～19世紀—」歴史地理学140, 1988, pp. 1-16
- 8) 溝口常俊「近世甲斐国における奉公人の移動に関する研究」人文地理学33-6, 1981, pp. 1-24
- 9) 蒲生正男「戦後日本社会の構造的变化の試論」『現代のエスプリ 人間と親族』80, 至文堂, pp.188-206
- 10) 溝口常俊「幕藩社会確立期における家族形態の変容」歴史地理学121, 1983, pp.17-31
- 11) 黒須里美「弘化三年ヒノエウマー文化と人口の地域性」国際日本文化研究センター紀要『日本研究』6, 1992, pp.35-55, 友部謙一「徳川農村における出生力とその近接要因について一間引き説の批判と近世から近代の農村母性をめぐる考察—」EAP Conference Paper Series 1, 1996, pp. 1-27, 平井晶子「家族観の社会史—宗門人別帳の分析を中心にして—」EAP Working Paper Series 1, 1996, pp. 1-69, 岡田あおい「近世農民社会における世帯と家系の継承—会津山間部の宗門改帳を中心として—」EAP Monograph Series 1, 1996, pp. 1-240, 鬼頭 宏「宗門改帳と懷妊書上帳—19世紀北関東農村の乳児死亡—」EAP Working Paper Series 2, 1996, pp. 1-25, 浜野 潔・黒須里美・森本修馬「徳川農村は『皆婚社会』か？—濃州西条村・生涯未婚率の推計—」EAP Working Paper Series 6, 1998, pp. 1-15
- 12) 屋久町教育委員会所蔵

- 13) 屋久町郷土誌編纂委員会『屋久町郷土誌 第1巻 村落誌上』, 1993, pp.38-39
- 14) 注12) p.28
- 15) 注12) p.41
- 16) 屋久町『平成8年度版 統計やく』1997, p. 4
- 17) 溝口常俊「屋久島中間村における切替畠利用の変遷」名古屋大学文学部研究論集・史学44, 1988, pp. 141-154
- 18) 研究対象集落10ヶ村のうち, 安房と船行の2村はデータ未入手故, 数には入れてない。
- 19) 注4) p.183
- 20) 注10)
- 21) 注5) p.52
- 22) 鹿児島大学法文学部文化人類学教室『屋久町の民俗Ⅱ』1998, p.123
- 23) 米本裕見子氏(現, 愛知県立大学4年, 国際日本文化研究センターEAP補助員)によるビデオインタビューは98年10月2日前10-12時に日高時徳氏宅にて行われた。
- 24) 注17)

付表1 栗生村の世帯構成(1726)

番号	名前	続柄	年齢	戸数	田	畠	山畠	総計	馬	桑	柿	船	銅
				戸数	戸数	戸数	戸数	戸数	匹	本	本	艘	帖
1.01	根左衛門 世帯主	43	7 10 17 28		15 8			1					
1.03	十さ 女子	15											
1.04	初 子	9											
1.05	豊けさ 女子	12											
1.06	けさ 鶴 女子	5											
2.01	長右衛門 世帯主	42	5 12	5 12 2 20 13 14	11	1							
2.02*	十さ 妻	35											
2.03	十さ 女子	13											
2.04	長太郎 子	11											
2.05	長龜 女子	8											
2.06	長五郎 子	4											
2.07	喜兵衛 世帯主	58	10 6	9 0	19 6	11	1						
3.02	八重 子	37											
3.03	いぬ 女子	13											
3.04	さく 女子	10											
3.05	喜三兵衛 子	8											
3.06	新蔵 子	4											
3.07	戸右衛門 子	26											
4.01	伊左衛門 世帯主	42	10 24		10 24	11	1						
4.02*	十さ 妻	38											
4.03	仲右衛門 子	19											
4.04	松五郎 子	13											
4.05	犬 女子	10											
4.06	けさ 女子	4											
4.07	近右衛門 爪	71	2 23		2 23								
5.01	五兵衛 世帯主	34	4 0	5 10	4 24 14 0	11	1						
5.02	近右衛門 子	6											
5.03	近右衛門 子	3											
5.04	けさ 徒弟女	34											
5.05	かな 徒弟女	25											
5.06*	お母 女子	47											
5.07	長鶴 徒弟女	48											
5.08	かめ 徒弟女	41											
5.09	七右衛門 き	38											
5.10	孙平次 09子	9		0 16	0 16	11							
5.11	まんけ 09女子	3											
5.12	才右衛門 * 73												
6.01	大兵衛 世帯主	55	3 27	5 13	9 10	11							
6.02	大兵衛 子	27											
6.03	太郎吉 02女子	5											
6.04	伊右衛門 子	23											
6.05	まつ大 04女子	1											
7.01	七右衛門 世帯主	69	3 0		3 0	11							
7.02*	十さ 妻	64											
7.03	お三郎 01子	37		1 18	1 18	11							
7.04*	お3妻 32												
7.05	百 03女子	11											
7.06	次郎八 03子	7											
7.07	才右衛門 03子	4											
7.08	休之丞 03子	35		0 21	0 21	11							
7.09	休言 08子	8											
7.10	源次郎 08子	6											
7.11	吉十郎 子	24											
8.01	三十郎 世帯主	35	2 18	4 20 16 11	23 19	11	1						
8.02	くめ 女子	12											
8.03	豊松 女子	9											
8.04	百之丞 子	4											
8.05	平兵衛 弟	31											
8.06	与八 05子	6		4 24	4 24	11							
8.07	乙松 05女子	2											
9.01	五右衛門 世帯主	37	5 8	6 18	1 10 13 6	11	1						
9.02*	十さ 妻	41											

番号	名前	続柄	年齢	戸数	田	畠	山畠	総計	馬	桑	柿	船	銅
				戸数	戸数	戸数	戸数	戸数	匹	本	本	艘	帖
9.03	ふく 女子	15											
9.04	千(チ)さ 女子	9											
9.05	孫市 子	71											
9.06	朝日 女子	5											
9.07	千七 末	35											
9.08	虎松 07子	9											
9.09	けさ 07女子	5											
9.10*	養母 母	75											
9.11	けさ 10孫女	34											
10.01	源次郎 世帯主	34	6 9	6 0	12 5	3 6	27 20	11					
10.02*	十さ 妻	29											
10.03	長次郎 子	13											
10.04	豊鶴 女子	10											
10.05	長松 子	6											
10.06	空満 女子	2											
10.07	長十郎 伯父	68							6 0	6 0			
10.08	正次郎 07妻	65											
10.09	正次郎 07子	38							3 1	3 1			
10.10	千代松 07女子	31											
10.11	喜右衛門 伯父	60											
10.12	源右衛門 47								10 16	6 20			17 6
10.13	八十郎 12子	19											
10.14	犬 12女子	16											
10.15	さく 12女子	8											
10.16	ふく 12妹	42											
10.17	源右衛門 12妹	38							9 18	0 12	10 0		
10.18	彦松 17子	12											
10.19	さく 17女子	5											
10.20	三左衛門 17子	2											
10.21	源右衛門 11孫	33											1 12
10.22	源太郎 21子	3							1 0		1 0		
11.01	守左衛門 世帯主	40	2 4	22 12	2 0	26 16	1 1	1					
11.02*	十さ 妻	33											
11.03	伊左衛門 子	13											
11.04	小十郎 子	10											
11.05	犬 女子	7											
11.06	伊勢子 子	5											
11.07	一之三郎 * 3	4							4 6		4 6		
11.08	みや 姪	32											
12.01	大兵衛 世帯主	35	2 20	6 9	3 24								
12.02	せん 女子	13											
12.03	兵次郎 子	9											
12.04	清松 女子	5											
12.05	せん 姉	47											
12.06	太郎 太郎 姉	26											
13.01	休兵衛 世帯主	57	2 10	10 15	0 16	13 11			1	1	1		
13.02*	十さ 妻	53											
13.03	勘右衛門 弟	45	2 0						3 6	5 6			
13.04*	一之三郎 03妻	53											
13.05	休五郎 弟	33											
13.06	休太郎 05子	31											
14.01	勘左衛門 世帯主	55	2 12		4 20								
14.02	範兵衛 子	31											
14.03	虎 02子	4											
14.04	いせ 女子	25											
14.05	鶴 姉	40											
14.06	朝日 姉	32											
14.07	さく 姉	25											
14.08	母 母	62											
15.01	周兵衛 世帯主	48	2 12										
15.02	おまん 姉	55											
15.03	長藏 02子	30											
15.04	長吉 03子	6											
15.05	長松 03子	31											
15.06	吉左衛門 *	67			4 24				4 24				
15.07*	吉左衛門 *	60											



番号	名前	続柄	年齢	戸数	田	畠	山畠	総計	馬	桑	柿	船	網
					戸主								
25.13	益左衛門	08子	13										
25.14	豊	08婦	57										
25.15	乙清	108婦	51										
25.16	喜十郎	* 60											
25.01	益右衛門	世帯主	40	2	0			2	0	1	1		
25.02	吉武	子	13										
25.03	休七	子	10										
25.04	沢之丞	子	6										
25.05	休五郎	草	33	18	3			8	3				
25.06	吉次郎	105子	8										
25.07	らよけさ	105女子	51										
25.08	乙	105女子	31										
25.09	*	母	66										
27.01	益左衛門	世帯主	41	1	26			1	26	1	1		
27.02	*	妻	38										
27.03	太郎	女子	20										
27.04	まつ	女子	15										
27.05	助右衛門	子	10										
27.06	益右衛門	子	41										
27.07	*	母	59										
27.08	平八	弟	35										
27.09	平次郎	109子	15										
23.01	与市	世帯主	40	2	8	7	14	2	26	12	18		
23.02	*	妻	37										
23.03	角鶴	女子	20										
23.04	*	子	18										
23.05	茂市	47											
23.06	茂十郎	105子	12										
23.07	宮千代	105子	10										
23.08	益右衛門	34-01子	45										
23.09	*	108娘	39										
23.10	角鶴	108女子	19										
23.11	安佐太郎	108子	15										
23.12	千吉	108女子	8										
23.13	辰七	34-01子	35										
23.14	せん	13女子	6										
23.15	吉	13女子	4										
23.16	吉右衛門	34-01子	31										
23.17	吉次郎	16子	1										
29.01	千兵衛	世帯主	57	5	15	10	8	9	0	24	23	1	1
29.02	*	妻	51										
29.03	千かめ	女子	34										
29.04	吉兵衛	子	32										
29.05	けさ	女子	27										
29.06	せん	女子	24										
29.07	吉左衛門	子	17										
29.08	けさ	04女子	21										
30.01	正右衛門	世帯主	68	2	20	8	24	12	0	23	14	1	1
30.02	吉次郎	子	44										
30.03	*	102妻	40										
30.04	吉松	102子	17										
30.05	吉八	102子	9										
30.06	正之丞	02子	7										
30.07	小まん	02女子	21										
30.08	吉次郎	弟	60										
30.09	*	108妻	57										
30.10	休十郎	08子	35										
30.11	けまつ	10女子	10										
30.12	休五郎	10子	8										
30.13	かな	10女子	51										
30.14	吉五郎	08子	22										
30.15	けさ	姉	70										
30.16	吉右衛門	*	53	2	12	6	0	8	18				
30.17	*	16妻	46										
30.18	種云	16子	20										
30.19	正吉	16子	15										
30.20	とく	16女子	10										

番号	名前	続柄	年齢	戸数	田	畠	山畠	総計	馬	桑	柿	船	網
					戸主								
30.21	松安	16子	61										
30.22	*	16母	74										
30.23	正兵衛	16弟	35										
30.24	*	23姫	31										
30.25	さく	23女子	11										
30.26	正之丞	23子	8										
30.27	けさ	23女子	3										
30.28	*	16妹	46										
31.01	松右衛門	世帯主	56	3	22	9	10		1	10	14	12	1
31.02	*	妻	47										
31.03	樺太郎	子	26										
31.04	弥兵衛	子	23										
31.05	ひか	女子	17										
31.06	さく	女子	7										
31.07	けさ	女子	4										
31.08	太郎吉	子	21										
32.01	松右衛門	世帯主	51	2	17	11	12		21	27	1		
32.02	*	妻	48										
32.03	千次郎	与市子	41										
32.04	兵兵衛	率	62						16	28			
32.05	吉左衛門	子	31										
32.06	市十郎	106孫	211										
32.07	目	106孫女	161										
34.01	吉右衛門	世帯主	67	3	0			15	19		18	10	1
34.02	*	妻	69										
34.03	千次郎	4											
34.04	市兵衛	率	62										
34.05	吉左衛門	子	19										
34.06	吉かめ	04子	31										
34.07	吉かめ	第	461										
34.08	乙	07女子	23										
34.09	長松	07子	19										
35.01	吉右衛門	世帯主	65	2	23				2	23	1		
35.02	彦之丞	子	35		15	22	6	0	21	22			
35.03	*	102妻	31										
35.04	けさ	102子	91										
35.05	彦次郎	02子	61										
35.06	虎市	02子	31										
35.07	彦之丞	*	55										
35.08	基平	07子	21										
36.01	吉右衛門	世帯主	35	2	0	6	7	3	10	11	20	1	
36.02	次郎	3											
36.03	兵兵衛	祖父	771										
36.04	*	103妻	65										
36.05	吉左衛門	第	32		1	22			1	22			
36.06	彦次郎	05子	31										
36.07	孝之丞	第	281										
36.08	千代松	妹	22										
36.09	*	母	551										
37.01	吉右衛門	世帯主	51							1	1		
37.02	*	妻	461										
37.03	かな	女子	29										
37.04	吉右衛門	子	26										
37.05	とく	04女子	2										
37.06	みや	女子	23										
37.07	徳蔵	子	15										

番号	名前	継柄	年齢	母姓	田	畠	山畠	総計	馬	桑	柿	船	鮑
			歳	歳	歳	歳	歳	歳	匹	本	本	艘	帖
37-01	正之丞	子	34		8	0	8	0					
37-02	鶴	108女子	10										
37-10	朱	08女子	71										
37-11	嘉之丞	09女子	21										
37-12	せん熊	姫妹	42										
38-01	曾次郎	世帯主	34	3	22	9	0		12	22	1	1	
38-02	さく	女子	71										
38-03	万吉	子	1										
38-04	鶴	妹	22										
38-05	太郎	妹	18										
38-06	甚内	弟	13										
38-07	*	母	54										
38-08	長松	伯母	54										
39-01	六右衛門	世帯主	46	3	0	14	23	8	16	24	19	3	1
39-02	*	妻	43										
39-03	寝姿次女	子	20										
39-04	けさ	女子	16										
39-05	千代けさ	女子	11										
39-06	次郎	子	71										
39-07	かめ	女子	4										
39-08	乙	妹	44										
39-09	清四郎	養弟	31										
40-01	善六	世帯主	35	2	15	10	0	9	17		22	2	1
40-02	*	妻	36										
40-03	善之丞	子	13										
40-04	けさ	女子	9										
40-05	善四郎	子	5										
40-06	百	従弟女	26										
40-07	*	姉	48										
41-01	越兵衛	世帯主	33	2	24		1	20		14	14		
41-02	浪八	子	2										
41-03	良吉	世帯主	27	2	10	5	12	3	0	5	4	15	26
41-04	次郎	女子	3										
41-05	*	母	55										
42-01	長吉	世帯主	54	3	8	14	8		7	16	1	1	1
42-02	*	妻	37										
42-03	松右衛門	07子	12										
42-04	百	女子	17										
42-05	*	母	75										
42-06	けさ	妹	52										
42-07	彦市	弟	39										
42-08	*	07妻	37										
42-09	松右衛門	07子	12										
42-10	けさ	07女子	8										
42-11	仁兵衛	07子	5										
42-12	千松	07子	3										
42-13	彦十郎	伯父	68										
42-14	*	13妻	63										
43-15	鶴	13女子	41										
43-16	五十郎	従弟	24										
43-17	九市	16子	2										
43-18	八鼠	16弟	21										
43-19	さく	16妹	17										
43-20	吉兵衛	16弟	14										
44-01	左右衛門	世帯主	42	4	0	2	3		6	3	1		
44-02	*	妻	36										
44-03	笠之丞	子	15										
44-04	太平	子	12										
44-05	さく	女子	10										
44-06	竹	女子	7										
44-07	千代瓶	女子	4										
44-08	弥平次	親	68										
44-09	千吉	08女子	40										

番号	名前	継柄	年齢	母姓	田	畠	山畠	総計	馬	桑	柿	船	鮑
			歳	歳	歳	歳	歳	歳	匹	本	本	艘	帖
44-10	*	08子	38										
44-11	まつ	08女子	35										
44-12	強五郎	08子	28										
44-13	扇七	12子	4										
44-14	宇兵衛	#	41										
44-15	次郎	14女子	13										
44-16	長五郎	14子	8										
44-17	ひか	14女子	4										
45-01	甚威	世帯主	43	2	20		1	2	1	5	4	27	
45-02	*	妻	40										
45-03	けさ	女子	17										
45-04	熊	1子	14										
45-05	休松	子	9										
45-06	乙鶴	女子	5										
45-07	*	母	62										
45-08	*	弟	24										
45-09	*	妹	16										
45-10	うふ	#	87						10	24	10	24	
45-11	休左衛門	#	47										
45-12	しほ	12女子	40										
45-13	利根助	12子	37										
45-14	しほ	12妹	62										
45-15	弥七郎	#	44										
45-16	左五郎	#	38						10	0	10	0	
45-17	右五郎	#	16弟										
45-18	弥八	17子	10										
45-19	弥八	17母	70										
45-20	*	43			21	4		21	4				
46-01	甚之丞	世帯主	60	7	14		7	14					
46-02	*	妻	31										
46-03	國千代	子	28										
46-04	皮石右衛門	50											
46-05	*	太郎	20										
47-01	凡左衛門	世帯主	48	2	6		2	6	3	1	1		
47-02	*	妻	43										
47-03	千代松	女子	25										
47-04	八右衛門	兄	60		1	26		1	26				
47-05	*	04妻	58										
47-06	朝日	04女子	36										
47-07	しめ	04女子	31										
47-08	八兵衛	04子	28										
47-09	豊松	09女子	5										
47-10	八右衛門	09子	2										
47-11	跡市	56											
47-12	つる	11子	81										
47-13	牛三兵衛	#	72						24	2	24	2	
47-14	次右衛門	#	21										
47-15	乙つる	14女子	3										
47-16	やす	14弟	22										
48-01	五右衛門	世帯主	43	2	26		1	26					
48-02	*	妻	40										
48-03	次郎	女子	20										
48-04	鶴	女子	18										
49-01	清左衛門	世帯主	48	1	25	17	15		19	11	1		
49-02	*	妻	48										
49-03	徳千代	子	15										
49-04	次郎	女子	9										
50-01	六之丞	世帯主	60	3	0	10	8	16	13		19	21	
50-02	*	妻	47										
50-03	竹右衛門	1子	24										
50-04	六兵衛	1子	20										
50-05	けさ	女子	15										
50-06	三之丞	子	9										
50-07	七郎	甥	40										
50-08	かめ	10子	17										
50-09	*	07母	63										
50-10	豊	07伯母	66										
50-11	さく	10子	44										

番号	名前	続柄	年齢	戸数	田	畠	山畠	総計	馬	桑	柿	船	網	帖
				戸/歩	戸/歩	戸/歩	戸/歩	戸/歩	匹	本	本	艘	艘	帖
S1.12	かめ	10女子	41											
S1.13	七之丞	10子	38											
S1.14	豊	10子	31											
S1.15	小右衛門	10子	23											
S1.16	けざ	妹	56											
S1.17	平内	16子	35											
S1.18	けざ	16女子	8											
S1.19	朔日	-	16女子	6										
S1.20	かめ	-	16女子	3										
S1.21	消次郎	世帯主	36	2.12			6	20	9/2		1			
S1.22	新兵衛	子	8											
S1.23	安右衛門	子	4											
S1.24	*	母	61											
S1.25	さく	姉	39											
S1.26	満	妹	34											
S2.01	西右衛門	世帯主	33	2.0			3.6	5/6		1				
S2.02	勘太郎	子	3											
S3.01	武右衛門	世帯主	61	2.10	9/8	0.27		12	15	1				
S3.02	*	妻	53											
S3.03	さく	女子	40											
S3.04	乙松	女子	28											
S3.05	太郎	孫女	17											
S3.06	かめ	孫女	13											
S3.07	さく	孫女	9											
S3.08	安次郎	孫	7											
S3.09	松次郎	孫	8											
S3.10	けざ	孫女	5											
S3.11	千代市	孫	4											
S3.12	文四郎	孫	1											
S4.01	武兵衛	世帯主	28		8/0	1	22		9/22	1				
S4.02	いぬ	妹	25											
S4.03	兔千代	弟	19											
S4.04	*	母	50											
S4.05	*	祖母	86											

番号	名前	続柄	年齢	戸数	田	畠	山畠	総計	馬	桑	柿	船	網	帖
				戸/歩	戸/歩	戸/歩	戸/歩	戸/歩	匹	本	本	艘	艘	帖
3.07	*	06妻	37											
3.08	与市	06子	14											
3.09	与兵衛	06子	11											
3.10	五郎八	06子	8											
3.11	次郎	06女子	4											
3.12	五右衛門	46	25											
3.13	五郎	12子	14											
3.14	乙市	12子	4											
3.15	百	伯母	63											
3.16	母	母	71											
4.01	竹石口丹	世帯主	48	4.24			6/9	7.26	18	29	1			
4.02	朔日	女子	41											
4.03	半十郎	02子	23											
4.04	仲兵衛	02子	16											
4.05	佐左衛門	弟	57											
4.06	*	05妻	58											
4.07	丈	05女子	33											
4.08	ノミヨシ	05子	27											
4.09	豊鶴	05女子	23											
4.10	市	09子	2											
4.11	たる	05子	20											
4.12	豊鶴	11女子	2											
4.13	さく	05子	14											
5.01	新兵衛	世帯主	43	4.6	3/0	0	20	1/2	8/28	1				
5.02	半右衛門	親	78											
5.03	*	02妻	69											
5.04	六兵衛	兄	50											
5.05	源之丞	*	67											
5.06	*	05妻	66											
5.07	喜左衛門	05子	34											
5.08	丈	07女子	10											
5.09	けざ	07女子	7											
5.10	喜右衛門	07子	2											
5.11	さく	07姪	5											
5.12	喜吉	07伯父	73											
6.01	八左衛門	世帯主	40	3.27			5.12	3/0	12	9	1			
6.02	さくさつ	女子	4											
6.03	*	母	74											
6.04	喜左衛門	延年	44											
6.05	長左衛門	04子	10											
6.06	ノミヨシ	*	49											
6.07	*	06妻	44											
6.08	次郎八	06子	14											
6.09	乙丈	06女子	9											
6.10	かな	06女子	4											
7.01	七左衛門	世帯主	42	2.12			5/18	2/7	10	7	1			
7.02	喜左衛門	子	15											
7.03	丈	女子	11											
7.04	たる	妹	39											
7.05	まんけざ	妹	35											
7.06	彦市	05子	2											
7.07	*	母	70											

付表2 中間村の世帯構成(1726)

番号	名前	続柄	年齢	戸数	田	畠	山畠	総計	馬	桑	柿	船	網	帖
				戸/歩	戸/歩	戸/歩	戸/歩	戸/歩	匹	本	本	艘	艘	帖
1.01	仁兵衛	世帯主	65	2/3			0.24	2/27	1					
1.02	*	妻	66											
1.03	伊勢	女子	35											
1.04	南右衛門	子	29	1	18	2	16	2	20					
1.05	大まつ	04女子	4											
1.06	大右衛門	弟	60											
1.07	*	06妻	46											
1.08	次郎	女子	28											
2.01	喜兵衛	世帯主	38	2/8	2/0	2/4	16.3	22	15	1				
2.02	*	妻	34											
2.03	鶴	女子	17											
2.04	丈太郎	子	12											
2.05	喜兵衛	子	10											
2.06	文菊	子	7											
2.07	なべ	姉	44											
2.08	みづ	姉	40											
2.09	朔日	08女子	12											
2.10	*	母	73											
3.01	与右衛門	世帯主	47	2/0			1.15	1	18	5/0	1			
3.02	*	妻	47											
3.03	喜右衛門	兄	49											
3.04	*	03妻	43											
3.05	半左衛門	子	18											
3.06	平作	養弟	43	10	6		4	12	14	18				

付表3 湯泊村の世帯構成(1726)

番号	名前	続柄	年齢	屋敷	田	畠	山畠	総計	馬	桑	柿	船	網	帖
				戸	戸	戸	戸	戸	匹	本	本	本	艘	帖
1.01	鶴右衛門	世帯主	55	1/12	8	12		1 20	11 14	1	1	1		
1.02*	妻		45											
1.03	鶴左衛門	子	25											
1.04	菊太郎	子	23											
1.05	菊次郎	子	7											
1.06	さぶ	女子	3											
1.07	五右衛門	*	35	5	18			5/18						
1.08*	妻		37											
1.09	休太郎	07子	35											
1.10	休松	07子	3											
2.01	吉右衛門	世帯主	65	1	28			6 20	8/18	1	1	1		
2.02*	妻		54											
2.03	喜吉	子	36		7	6		2 15	9/21					
2.04*	03妻		35											
2.05	けさ	03女子	6											
2.06	市兵衛	03子	24											
2.07*	虎翌婆	06妻	22											
2.08	虎翌	06子	2											
2.09	喜云衛門	子	22											
2.10	犬之子	子	19											
2.11	太郎	子	13											
2.12	千兵衛	*	59											
3.01	喜左衛門	世帯主	60	4	0			4 21	8/21	1	1	1		
3.02*	妻		58											
3.03	伊左衛門	子	31		11	14		5 18	17/2					
3.04*	03妻		35											
3.05	菊千代	03子	13											
3.06	小けさ	03女子	9											
3.07	孫太郎	03子	7											
3.08	太兵衛	03子	2											
3.09	六郎	女子	24											
3.10	けさ	女子	21											
3.11	姿姿千代	子	15											
3.12*	母		85											
4.01	孫七	世帯主	28	1	6			3 18	4/24	1	1			
4.02*	妻		29											
4.03	さくけさ	女子	10											
4.04	乙犬	女子	8											
4.05	休七	子	3											
4.06	ひが	婦	39											
4.07	吉兵衛	06子	18		3	0		2 15	5/15					
4.08	太郎	06子	15											
4.09*	母		59											
5.01	吉左衛門	世帯主	70	3	2	11	6	2 4	16 12	1	1	1		
5.02*	妻		59											
5.03	新兵衛	葵子	72											
5.04*	03妻		51											
5.05	吉兵衛	03子	27		7	24		7 4	14 28					
5.06	けさ	05女子	2											
5.07	新五郎	子	20											
5.08	乙	女子	17											
5.09	達也衛門	*	32		13	10		2 26	16 30					
5.10*	09妻		29											
5.11	もち	09女子	11											
5.12	まつかめ	09女子	6											
5.13	危松	09子	4											
5.14	豆三衛門	09子	1											
6.01	吉左衛門	世帯主	54	1	0			1 0	1 1	1	1	1		
6.02	与市	妻子	34		5	10		3 20	9 0					
6.03*	02妻		32											
6.04	さく	02女子	13											
6.05	豊鶴	02女子	7											
6.06	長底	02子	5											
6.07	喜太郎	02子	3											
6.08	彦市	*	27											

番号	名前	続柄	年齢	屋敷	田	畠	山畠	総計	馬	桑	柿	船	網	帖
				戸	戸	戸	戸	戸	匹	本	本	本	艘	帖
6.09*	08母	47												
7.01	孫兵衛	世帯主	28	3	0				8	24	11	24	1	1
7.02*	妻		27											
7.03	朔日	女子	7											
7.04	翌俊菊	子	4											
7.05	菊助	子	2											
7.06*	祖母		77											
7.07	孫四郎	伯父	68						0	20	0	20		
7.08*	妻		55											
7.09*	吉右衛門	子	28						1	25	5	4	6	29
7.10	けさまつ	09女子	16											
7.11	まん	09女子	7											
7.12	かめ	09女子	4											
7.13	豊けさ	07女子	35											
7.14	徳之丞	07子	28		2	21			2	21				
7.15	乙鶴	07女子	20											
8.01	次右衛門	世帯主	21	1	6					1	6		1	1
8.02	小市	妹	12											
8.03	孫次郎	弟	5											
8.04*	母		38											
9.01*	吉右衛門	世帯主	28	2	10	7	17		4	10	14	7	1	1
9.02	きく	女子	5											
9.03	吉右衛門	第	21											
9.04*	母		54											
9.05	吉兵衛		32						7	20	1	20	9	10
9.06	菊四郎	05子	4											
9.07	豊後次郎	05子	1											
9.08	源兵衛	*	64											
10.01	李左衛門	世帯主	61	2	16	1	0		37	17	41	3	1	1
10.02*	妻		60											
10.03	孫右衛門	子	36		9	27			12	25	22	26		
10.04*	03妻		37											
10.05	豊	03女子	14											
10.06	せん	03女子	11											
10.07	姿姿千代	03子	7											
10.08	松菊	03子	4											
10.09*	吉右衛門	子	23		5	10				5	10			
10.10	長底	09子	9											
10.11	豊鶴	09子	5											
10.12	彦次郎	子	22		3	15				3	15			
11.01	仲兵衛	世帯主	63	2	20				2	2	4	22	1	1
11.02*	妻		61											
11.03	孫右衛門	子	37		5	25			4	28	10	23		
11.04*	03妻		34											
11.05	三四郎	03子	12											
11.06	五郎	子	31		16	12				16	12			
11.07	五右衛門	弟	43						4	2	4	2	1	
11.08*	07妻		35											
11.09	犬之子	07子	7											
12.01	左左衛門	世帯主	69	4	6					4	6	1	1	1
12.02*	妻		62											
12.03*	吉右衛門	子	34		3	0			4	18	7	18		
12.04	豊鶴	03女子	13											
12.05	長けさ	03女子	2											
12.06	彦十郎	世帯主	39	4	2	2			5	2	11	10	1	1
12.07*	妻		38											
13.03	豊鶴	女子	19											
13.04	まん	女子	17											
13.05	きく	女子	14											
13.06	小まつ	女子	11											
13.07	忍太郎	子	9											
13.08	猿十郎	子	5											
13.09*	母		74											
14.01	半左衛門	世帯主	46	2	10	8	20		11	14	20	4	1	1

番号	名前	続柄	年齢	戸数	田	畠	山畠	総計	馬	桑	柿	船	網	帖	
					戸主	母	夫	子	孫	孫	孫	孫	匹	本	本
14.02 *	妻	41													
14.03 仲庭	子	20													
14.04 松翠姿	子	17													
14.05 せん鶴	女子	14													
14.06 千菊	女子	11													
14.07 小菊	女子	8													
14.08 藤姿市	子	5													
14.09 彦五郎	*	34													
14.10 *	[09]妻	27													
14.11 横太郎	[09]子	5													
14.12 彦次郎	[09]子	3													
14.13 ひか	[09]女子	1													
14.14 彦七	[09]男	26													
14.15 三七	[14]弟	23													
14.16 *	[14]母	45													

番号	名前	続柄	年齢	戸数	田	畠	山畠	総計	馬	桑	柿	船	網	帖	
				戸主	母	夫	子	孫	匹	本	本	艘	艘	帖	
5.04	けさ松	女子	24												
5.05	与作	子	12												
5.06	与八	子	4												
5.07	さく	女子	2												
5.08	与右衛門	*	31		1. 18				15	20	17/8				
5.09	与七郎	*	36						4.	15	4/15				
5.10 *	[09]妻	34													
5.11 須次郎	[09]子	11													
5.12 豊けさ	[09]女子	9													
5.13 俊平千代	[09]子	3													
5.14 与右衛門	*	30										5/0	5/0		
5.15 *	[14]妻	26													
5.16 三三三	[14]子	7													
5.17 こめ	[14]女子	3													
5.18 浪八	[14]弟	19										10	19	10/19	
5.19 かめ	[14]妹	17													
5.20 三三三	[14]親	58													
5.21 *	[20]妻	54													

付表4 平内(椎野)村の世帯構成(1726)

<平内村>														
番号	名前	続柄	年齢	戸数	田	畠	山畠	総計	馬	桑	柿	船	網	帖
				戸主	母	夫	子	孫	匹	本	本	艘	艘	帖
1.01 庄吉	世帯主	22	1. 18		3	10	4/28	1	1	1				
1.02 安左衛門	兄	49												
1.03 *	[102]妻	37												
1.04 安太郎	弟	16												
2.01 兵右衛門	世帯主	49	4/6		10	24	15/0	2	1	1				
2.02 *	妻	40												
2.03 鶴	女子	21												
2.04 安次郎	子	19												
2.05 三五郎	子	17												
2.06 鶴	女子	14												
2.07 猪飼	女子	10												
2.08 萩崎太郎	子	6												
2.09 長三郎	子	3												
2.10 いぬけさ	姫	16												
2.11 けさ犬	姫	11												
2.12 豆十郎	娘	8												
2.13 *	[12]母	39												
2.14 佐右衛門	*	35												
2.15 いぬ	14妹	28												
2.16 彦十郎	[14]弟	23												
2.17 乙	14妹	17												
2.18 乙千代	[14]弟	14												
2.19 豊	14妹	7												
2.20 みつ	14妹	4												
2.21 けさ犬	14妹	1												
2.22 休兵衛	[14]親	63			17	22	17	22						
2.23 *	22妻	56												
3.01 仁兵衛	世帯主	42	3. 24		9	16	13/10							
3.02 *	妻	36												
3.03 仁兵衛	子	17												
3.04 沿三郎	子	15												
3.05 けさ犬	女子	11												
3.06 菊松	子	6												
3.07 ひかまつ	女子	3												
3.08 朝日	妹	32												
4.01 休六	世帯主	49	4/0			4	0	1	1	1	1			
4.02 逸市	發子	7												
4.03 長五郎	*	28			11	25	11	26						
4.04 ひか	[03]女子	1												
4.05 長兵衛	[03]弟	24	8	18			8	18						
4.06 一	[03]親	57												
5.01 佐右衛門	世帯主	63	4/10		2	18	6/28	2	1	1				
5.02 *	妻	56												
5.03 けさ	女子	28												

8.01 佐右衛門	世帯主	43	3	12					6	13	9/25	2	1	1
8.02 *	妻	41												
8.03 ひか	女子	19												
8.04 仙吉	子	10												
8.05 善吉	子	8												
8.06 *	母	76												
8.07 佐左衛門	*	29												
8.08 芒	07妹	27												
8.09 免けさ	07妹	21												
8.10 さくかめ	07妹	17												
8.11 雪次郎	07弟	11												
8.12 作十郎	*	25	4	15					24	19	29/14			
8.13 普慶	12弟	21												

番号	名前	続柄	年齢	星数	田	畠	山畠	税計	馬	桑	柿	船	稻
				丑/タ	寅/タ	卯/タ	辰/タ	巳/タ	午/タ	未/タ	申/タ	酉/タ	戌/タ
8. 14	次郎	12妹	19										
8. 15	かな	12妹	16										
8. 16	*	12母	50										
8. 17	吉盛	*	32	10. 17	9. 8	19. 20							
8. 18	*	17妻	29										
8. 19	休市	17子	8										
8. 20	朔日	17女子	6										
8. 21	平八	17子	2										
9. 01	喜太郎	世帯主	24	2/4		9. 3	11. 7		1	1			
10. 01	長次郎	世帯主	28	3/8		1. 28	5. 6	2	1	1			
10. 02	*	妻	24										
10. 03	喜平次	子	3										
10. 04	喜けさ	女子	1										
10. 05	喜威	弟	19										
10. 06	喜威	親	50	14. 6	19. 5	33. 11							
10. 07	*	106妻	49										
10. 08	半七	*	53	5. 20	4. 20	10. 10							
10. 09	*	08妻	40										
10. 10	豊四	08女子	22										
10. 11	清行	08女子	20										
10. 12	分七	08子	15										
10. 13	長八	08子	11										
11. 01	平次郎	世帯主	12	1. 19		1/19		1	1	1			
11. 02	かな大	姉	15										
11. 03	喜右衛門	親	57										
12. 01	三兵衛	世帯主	29	2/0		2. 0		1	1	1			
12. 02	安三郎	子	4										
12. 03	休郎	子	2										
13. 01	造兵衛	世帯主	51	4. 12. 6. 28		7. 7	18. 17	2	1	1			
13. 02	*	妻	47										
13. 03	ひか	女子	22										
13. 04	まんかめ	女子	19										
13. 05	とよ	女子	14										
13. 06	喜右衛門	*	54	2. 20		1/0	3. 20						
13. 07	*	106妻	52										
13. 08	喜太郎	06子	16										
13. 09	勝十郎	06子	14										
13. 10	けざ	106女子	19										
13. 11	*	106母	72										
13. 12	喜左衛門	*	34			2. 24	2. 24						
13. 13	*	12妻	34										
13. 14	三太郎	12子	14										
13. 15	けざ	12女子	6										
13. 16	みづ	12女子	3										
13. 17	佐佐子代	12子	11										
14. 01	七右衛門	世帯主	19	0. 20		0/20							
14. 02	孫兵衛	弟	11										
14. 03	百みづ	妹	8										
14. 04	七左衛門	兄	47			1/5	1/5						
14. 05	*	104妻	40										
15. 01	喜右衛門	世帯主	47	2. 18		7. 0	9. 18	3	1	1			
15. 02	*	妻	44										
15. 03	四みづ	女子	22										
15. 04	権兵衛	子	19										
15. 05	もち	女子	15										
15. 06	*	祖母	76										
15. 07	*	伯母	68										
15. 08	喜右衛門	養子	35										
15. 09	喜右衛門	*	23			7. 20	7. 20						
15. 10	けざ	09姫	26										
15. 11	いぬ	09妹	18										
15. 12	*	09母	51										
15. 13	喜右衛門	*	39	9. 18		3. 13	13. 1						
15. 14	*	13妻	32										

番号	名前	続柄	年齢	星数	田	畠	山畠	税計	馬	桑	柿	船	稻
				丑/タ	寅/タ	卯/タ	辰/タ	巳/タ	午/タ	未/タ	申/タ	酉/タ	戌/タ
15. 15	朔日	13女子	13										
15. 16	乙松	13子	4										
15. 17	善四郎	*	30						2. 24	2. 24			
15. 18	けざ	17姫	34										
15. 19	けざまつ	17妹	16										
15. 20	*	17母	59										
15. 01	喜右衛門	世帯主	45	5/6	0. 12				5/18	2	1	1	1
15. 02	喜太郎	孫子	17										
15. 03	*	母	54										
15. 04	乙	女子	28										
15. 05	なへ	姪女子	23										
15. 06	吉兵衛	親	78										
15. 07	喜左衛門	*	35		1. 10			39. 8	40. 18				
15. 08	*	07妻	25										
15. 09	休次郎	07子	8										
15. 10	喜右衛門	07子	4										
15. 11	乙治	07女子	1										
15. 12	長内	07弟	19						12. 20	12. 20			
15. 13	みづ	07妹	17										
15. 14	まづ	07妹	14										
15. 15	休三郎	07弟	10						10. 16	10. 16			
15. 16	喜右衛門	*	66										
15. 17	*	16妻	62										
17. 01	喜左衛門	世帯主	19	1/6					21. 6	22. 12	1	1	1
17. 02	ひか	妹	16										
17. 03	喜左衛門	親	64										
17. 04	*	03妻	56										
18. 01	一之**	世帯主	51	3. 15					3. 20	7/5	1	1	1
18. 02	*	妻	43										
18. 03	みづ	女子	23										
18. 04	文右衛門	子	19						1/18	1/18			
18. 05	けざ	女子	14										
18. 06	喜右衛門	*	29	3. 18					3. 26	7/14			
18. 07	長十郎	06弟	19										
18. 08	基八	06弟	14										
18. 09	けざ	106妹	16										
18. 10	*	106母	50										
<椎野村>													
1. 01	長吉	世帯主	25						1/0	3. 7	4/7		
1. 02	もじけざ	妹	23										
1. 03	長七郎	弟	15						4. 20				
1. 04	仁兵衛	弟	4										
1. 05	朔日	姫	2										
1. 06	*	1母	46										

付表5 小島(恋泊)村の世帯構成(1726)

<小島村>		続柄	年齢	雇致	田	畠	山畠	総計	馬	桑	柿	船	網	舗
番号	名前													
1.01	世帯主	48	10.6	6/3				16/9	2	1	1			
1.02*	妻	42												
1.03	子	20												
1.04†	つる	女子	16											
1.05	休四郎	子	12											
1.06	豊松	女子	6											
1.07	勘兵衛*	23			4.0	2/4	6.4							
1.08	七右衛門	07弟	20											
1.09	三太郎	07弟	16											
1.10	小拾郎	07弟	9											
1.11	喜云左衛門	07親	51											2
1.12*	喜雲	46												
2.01	勘右衛門	世帯主	54	3.22		2.20		6.12	1	1	1			
2.02*	妻	48												
2.03	消五郎	子	20											
2.04	かめ	女子	17											
2.05	さぶ	女子	12											
2.06	新五郎	子	9											
3.01	女右衛門	世帯主*	36	4.26	13.1	15.25		33.22	1	1	1			
3.02	太郎	子	13											
3.03	次郎	女子	9											
3.04	三郎	子	3											
3.05	四郎兵衛	親	79											
3.06*	05妻	77												
4.01	平四郎	世帯主	24	2.20	5.28	0.21		9.9	2	1	1			
4.02	小太郎	子	4											
4.03	菊魚	妹	21											
4.04†	けいぬ	妹	18											
4.05	勘右衛門	弟	15											
4.06*	母	47												
4.07	長松	従弟	21		0.24	3.20	4.14							
4.08	七兵衛	祖父	72											
4.09*	08妻	64												
4.10	喜右衛門*	21												
4.11	喜く	10姉	29											
<恋泊村>														
1.01	大右衛門	世帯主	45	2.20	2.10	2.0	3.8	32.8	2	1	1			
1.02*	妻	40												
1.03	兵右衛門	子	19											
1.04	筋右衛門	子	16											
1.05	大左衛門	子	11											
1.06	百左衛門	子	8											
1.07	けさ	女子	6											
1.08	長次郎	弟	39											
1.09	長兵衛	親	68											
2.01	安兵衛	世帯主	42	5.10	16.24			22.4	1	1	1			
2.02*	妻	36												
2.03	けさ	女子	16											
2.04	長五郎	子	14											
2.05	袴姿菊	子	7											
2.06	五右衛門	名子	63											

付表6 尾之間村の世帯構成(1726)

<尾之間村>		続柄	年齢	雇致	田	畠	山畠	総計	馬	桑	柿	船	網	舗
番号	名前													
1.01	仙兵衛	世帯主	53	6/7	8/15	1-10	11/0	27/2	2					
1.02*	妻	51												
1.03	けいぬ	女子	28											
1.04	いね	03女子	2											
1.05	まつ	女子	28											
1.06	梵兵衛	子	22											
1.07*	母	71												
1.08	金左衛門*	37			7/0									
1.09*	08妻	31												
1.10	次郎	08女子	12											
1.11	豈まつ	08女子	8											
1.12	豈右衛門*	47												8/2
1.13*	12妻	47												
1.14	朝日	12女子	27											
1.15	せん	12女子	15											
1.16*	12母	62												
2.01	喜右衛門	世帯主	82	4/0										
2.02*	妻	74												
2.03	喜右衛門	子	52		2/4									2/4
2.04*	03妻	49												
2.05	喜右衛門	13子	27											
2.06	仙太郎	05子	51											
2.07	佐藤之代	05子	2											
2.08	金次郎	03子	18											
2.09	喜右衛門	1子	43											2/5
2.10*	09妻	37												
2.11	まつ	09女子	20											
2.12	喜右衛門	10子	17											
2.13	喜雲之丞	10子	14											
2.14	いぬ	11女子	39											
3.01	喜右衛門	世帯主	59	2.10	15.9	5/2	4/10	25/11	2					
3.02	いぬ	森女子	34											
3.03	喜つる	女子	28											
3.04	新兵衛	子	23											
3.05	かめ	女子	17											
3.06	喜右衛門*	42												4/16
3.07*	06妻	38												
3.08	いぬつる	06女子	16											
3.09	百左衛門	06子	18											
3.10*	06母	59												
3.11	仁左衛門*	50												3/6
3.12*	11妻	40												
3.13	ひか	11女子	17											
3.14	太郎	11女子	15											
3.15	渕市	11子	12											
3.16	けいぬ	11女子	9											
3.17	仁威	11子	4											
4.01	彦兵衛	世帯主	72	3.22										
4.02*	妻	74												
4.03	九左衛門	子	49		13.6									3/10
4.04*	03妻	46												
4.05	源八	03子	23											
4.06	九十郎	03子	21											
4.07	けさ	03女子	19											
4.08	犬婆	03子	17											1
4.09	俊彦次郎	03子	9											
4.10	庄左衛門	子	34											6/19
4.11*	10妻	35												
4.12	米	10女子	15											
4.13	俊彦次郎	10子	11											
4.14	乙松	10子	7											
4.15	俊彦次郎	10子	2											
4.16	長兵衛	養子	48											
5.01	彦兵衛	世帯主	46	2.10	1/18									
5.02*	妻	43												
5.03	もち	女子	17											



付表7 原村の世帯構成(1726)

番号	名前	続柄	年齢	住数	田	畠	山畑	総計	鳥	桑	柿	船	網
					戸	歩	戸	歩	匹	本	頭	船	網
1.01	周右衛門	世帯主	40	4/0				4/0					
1.02 *	母		64										
2.01	益右衛門	世帯主	31	4/0				1/0	5/0	3	1		
2.02	助六	弟	29										
2.03	孫次郎	弟											
2.04 *	母	[03母]	51										
2.05	長太郎	子	58										
2.06	次郎	05女子	28										
2.07	乙	06女子	6										
3.01	三左衛門	世帯主	47	12/0				6/25	18/25				
3.02 *	妻		42										
3.03	朔日	女子	16										
3.04	三太郎	子	14										
3.05	けざ	女子	10										
3.06	仁兵衛	弟	44										
3.07 *	妻	[06妻]	42										
3.09	百吉衛門	06子	15										
3.09	豊鶴	06女子	12										
3.10	仁左衛門	06子	9										
3.11	乙	06女子	4										
3.12	益云衛門	06弟	41										
3.13 *	妻	12妻	38										
3.14	益云衛門	12子	15										
3.15	甚七	12子	10										
3.16	利兵衛	12親	76					1/22	1/22				
3.17	三右衛門	従弟	47										
3.18	ひか	17女子	19										
3.19	孫次郎	17子	16										
3.20	済七	17子	10										
3.21	益云衛門	従弟	43										
3.22	桂左衛門	従弟	57					2/12	2/12				
3.23 *	妻	22妻	42										
3.24	孫次郎	22子	23										
3.25	犬之子	22子	18										
3.26	桂右衛門	22子	16										
3.27	朔日	22女子	10										
4.01	長兵衛	世帯主	60	5/20				8/22	14/12	11			
4.02 *	妻	59											
4.03	長次郎	子	23										
5.01	周兵衛	世帯主	44	12/14				12/14	2	1	2		
5.02 *	妻	39											
5.03	太郎	子	10										
5.04	四郎	子	7										
5.05	けざ	女子	3										
5.06	周吉	弟	33										
5.07 *	妻	06妻	31										
5.08	済八	06子	7										
5.09	周威	06子	5										
5.10	周三郎	弟	22										
5.11	助太郎	弟	10										
5.12	助市	弟	6										
5.13	八左衛門	親	65										
5.14 *	妻	13妻	47										
5.15	桂左衛門	11子	41										
5.16 *	妻	15妻	35										
5.17	乙	15女子	13										
5.18	大郎	15女子	8										
5.19	六七	15子	3										
5.20	桂右衛門	15子	34					6/22	6/22				
5.21 *	妻	20妻	30										
5.22	孫次郎	20子	12										
5.23	新太郎	20子	8										
5.24	妻姿市	20子	6										
5.25	さく	20女子	2										
5.26	一免	15親	60										
5.27	一免	15女子	12										

番号	名前	続柄	年齢	住数	田	畠	山畑	総計	馬	桑	柿	船	網
					戸	歩	戸	歩	匹	本	頭	船	網
5.28	桂右衛門	少佐	55										
5.29	太郎	28子	21										
5.30	勘之丞	28子	16										
5.31	まつ	28女子	5										
5.32 *	妻	28母	75										
6.01	七三郎門	世帯主	49	4/24				1/0	5/24				
6.02 *	妻		35										
6.03	長太郎	子	14										
6.04	七五	子	12										
6.05	けざ	女子	10										
6.06	牛太郎	子	7										
6.07	いぬ	女子	2										
6.08	七右衛門	弟	36										
6.09	勘七	弟	32										
6.10 *	妻	21											
6.11	朔日	09子	4										
6.12	八右衛門	弟	27										
6.13 *	妻	18											
6.14	三五郎	12弟	23										
6.15 *	妻	14母	58										
6.16	八兵衛	伯父	64										
6.17 *	妻	16妻	59										
6.18	桂右衛門	16子	36										
6.19	益右衛門	16子	33										
6.20	むらわ	従弟	62										
6.21 *	妻	20妻	59										
6.22	桂右衛門	20子	47										
6.23 *	妻	22妻	34										
6.24	甚太郎	22子	10										
6.25	甚十郎	22子	7										
6.26	孫次郎	22子	4										
7.01	桂左衛門	世帯主	40										
7.02 *	妻	30											
7.03	ひか	女子	18										
7.04	ほぞ	女子	15										
7.05	音太郎	子	11										
7.06	佐太郎	子	9										
7.07	おはな	子	7										
7.08	かな	妹	34										
7.09	なまく	弟	31										
7.10 *	妻	29											
7.11	万太郎	09子	1										
7.12	佐次郎	弟	28										
7.13 *	妻	12妻	19										
7.14	太郎	12女子	2										
7.15	市右衛門	52											
7.16	太郎	15女子	18										
7.17	音兵衛	15子	16										
7.18 *	母	71											
8.01	七兵衛	世帯主	47	6/29				3/6	1/0	11/5	1		
8.02 *	妻	39											
8.03	桂右衛門	子	21										
8.04	とく	女子	18										
8.05	三九郎	子	15										
8.06	まつ	女子	11										
8.07	七郎兵衛	弟	45										
8.08 *	妻	36											
8.09	きく	07女子	11										
8.10	かめ	07女子	8										
8.11	菊次郎	07子	5										
8.12	松翠袋	07子	2										
8.13 *	母	53											
8.14	せん	07妹	38										
8.15	七之丞	弟	29										
8.16 *	妻	21											
8.17	菊次郎	15子	4										
8.18	桂右衛門	弟	26										
8.19 *	妻姿市	21											
8.19	音兵衛	親	68										











